プロボノの現状と今後の展望

SERVICE GRANT

特定非営利活動法人 サービスグラント

代表理事 嵯峨 生馬 saga@servicegrant.or.jp

「プロボノ」とは?~ 企業人による社会貢献の新スタイル

プロボノとは、ラテン語のPro Bono Publico (公共善のために)を語源とする言葉で、 プロフェッショナルスキルや専門知識を持つビジネスパーソンやクリエイターが、 社会的・公共的な目的のために職業上のスキルを活かすボランティア活動をさします。 日本では2010年が「プロボノ元年」と言われ、プロボノという言葉の広がりとともに、 ビジネスパーソンのプロボノに対する関心は急速に高まりを見せています。

ProFor~のためにBonoGood善・いいことPublicoPublic公共的な

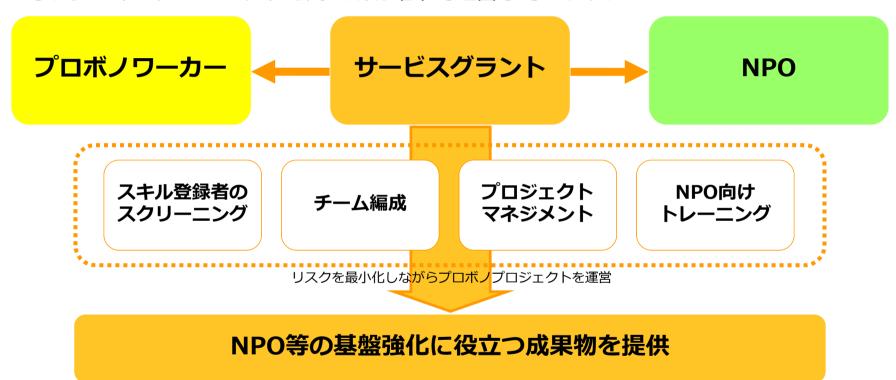






「成功するプロボノ」の仕組みを構築・運営

サービスグラントは、社会課題解決に取り組むNPO等の事業展開に必要不可欠な利用価値の高い成果物を、少ないコストで確実に提供するためのプログラムやノウハウを蓄積し、プロボノプロジェクトを高い成功確率で運営しています。











1

NPOの成長にともなって

プロボノへのニーズも多様化している

多様化するNPOニーズ

日本IBM様と協働で実施したNPOのプロボノニーズ調査結果からは、寄付者拡大・スタッフ育成・中長期的な事業計画など、NPOニーズが多岐にわたることが見えてきます。

	ポイント	最重要	重要	中程度	軽微	重要でない
寄付者・賛助会員を増やしたい	4.4	61	44	9	3	0
スタッフの専門性・プロ意識を高めたい	4.1	37	59	15	4	2
中長期的な事業計画を策定したい	4.0	35	56	20	4	2
事業の収益性を高めたい	4.0	42	47	17	6	5
スタッフの業務効率化・生産性向上を図りたい	3.9	30	59	16	5	5
社会に対する発信力を強化していきたい	3.9	32	49	24	6	3
協働企業を増やしたい	3.9	36	48	23	3	7
新しい活動内容・プログラムを開発したい	3.7	24	51	30	7	4
パンフレットを新しくしたい	3.7	30	37	38	8	4
ウェブサイトを新しくしたい	3.7	30	41	27	15	3
営業資料・プレゼン資料を新しくしたい	3.7	27	41	34	12	2
現在の活動内容・プログラムを見直したい	3.6	19	47	38	9	4
ボランティアマネジメントを強化したい	3.5	22	41	34	13	6
ボランティアを増やしたい	3.5	20	39	42	12	4
他地域に活動を展開していきたい	3.1	11	35	38	16	13
新しいスタッフを採用したい	3.1	10	37	32	22	13
人事制度(評価・給与等)を整備したい	2.9	9	30	36	25	17
新しい理事・顧問等を迎え入れたい	2.5	7	18	36	24	31

多様化するプロボノプログラム

「ウェブサイト支援」から「NPOの基盤強化全般」へ、プロボノプログラムの多様化を通じて、幅広いNPOニーズに応えることが求められています。

情報発信 ウェブサイト 印刷物 ファンドレイジング **営業資料 寄付管理**

業務改善 運営マニュアル 業務フロー設計 事業戦略
事業計画立案
マーケティング基礎調査

多様化するプロボノプログラム① 情報発信支援プログラム

NPOの多様なステークホルダーの中から、重要なターゲットを絞り、ニーズを把握。的確なコミュニケーションツールを設計することで、社会課題解決につながるアクションを喚起する情報発信ツールの制作を支援しています。

サービスグラント設立以来、最も多くの 実績を持つプログラムです。

職種・部署	参加可能性
経営企画	0
マーケティング	0
営業	0
コンサルティング	0
総務・経理	Δ
広報・IR	0
デザイン・クリエイティブ	0





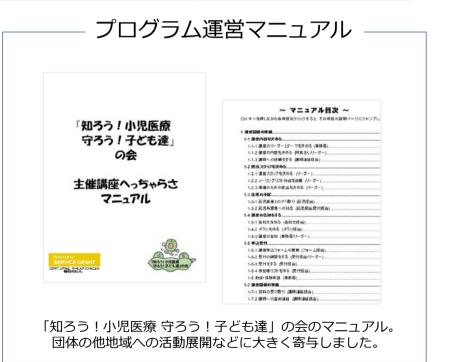
多様化するプロボノプログラム② **業務改善支援プログラム**

限られたリソースで活動するNPOにとって、生産性向上は必要不可欠。

業務の無理や無駄を省き、一部のスタッフに集中しない仕組みづくりをサポートすることで、NPOの基盤強化を図り、活動がより大きく発展することを支援するプログラムです。

職種・部署	参加可能性
経営企画	0
マーケティング	0
営業	Δ
コンサルティング	0
総務・経理	0
広報・IR	Δ
デザイン・クリエイティブ	-

業務フロー設計 区分 現行書類 今後 備考 基本的に同じ目的(授業設定)で、同じ運用 授業予定表 (3枚綴りを3者で保管)がされている書類 授業設定申請書 を、1つに統一したほうが、管理も簡単な 授業変更申請書 講師面談議事録フォーマット 採用面接議事録 ほとんど同じ目的と運用の書類を、1つに 統一したほうが、管理が簡単な為。 フォーマット インターン面接議事録 担当講師についての生徒初回アンケート 項目一覧 使わなくなった書類は、Dropboxのフォル 欠席遅刻者報告 削除 ダより削除。もしくは別に不使用ファイル フォルダを作り、そちらに移す。 契約書・口座振替申請書の記入に関する お願い NPO法人 キズキの帳票整理を行ったプロジェクトでは、 スタッフ内部での作業の引き継ぎなどが円滑になりました。



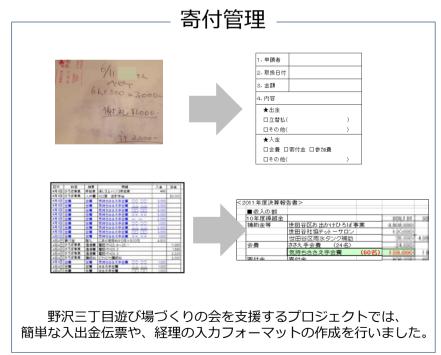
多様化するプロボノプログラム③
ファンドレイジング支援プログラム

NPOにとって最大の課題は資金調達。

寄付者・支援者・協働パートナーを開拓 するため、説得力ある説明資料を作成し たり、寄付者の管理を効率的に行うため の事務局体制づくりをサポートします。

職種・部署	参加可能性
経営企画	0
マーケティング	0
営業	0
コンサルティング	0
総務・経理	0
広報・IR	Δ
デザイン・クリエイティブ	Δ

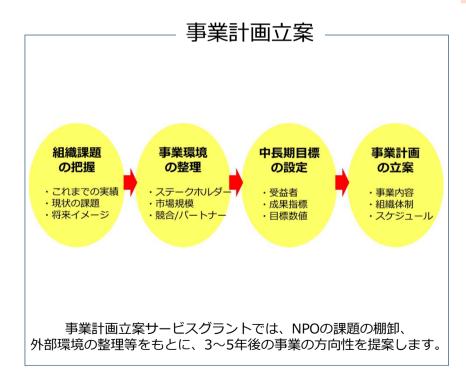


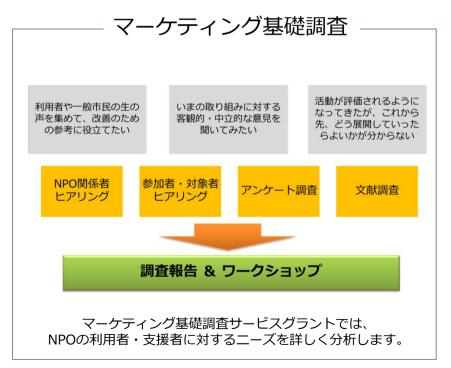


多様化するプロボノプログラム④ 事業戦略支援プログラム

中長期の目標設定、既存事業の見直し、 新事業の検討など、NPOにとってターニ ングポイントとなる意思決定をする際に、 課題の整理や取り組むべき施策の洗い出 しを行い、NPOの経営戦略の策定を支援 するプログラムです。

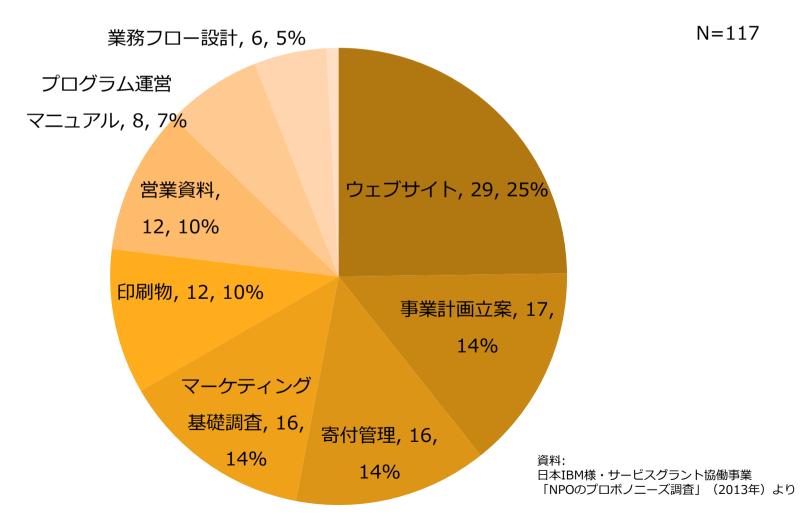
職種・部署	参加可能性
経営企画	0
マーケティング	0
営業	0
コンサルティング	0
総務・経理	0
広報・IR	0
デザイン・クリエイティブ	_





プロボノプログラムごとのニーズも分散している

サービスグラントが提供するプロボノプログラムに対するニーズも、多岐に分散している状況を見て取ることができます。



2

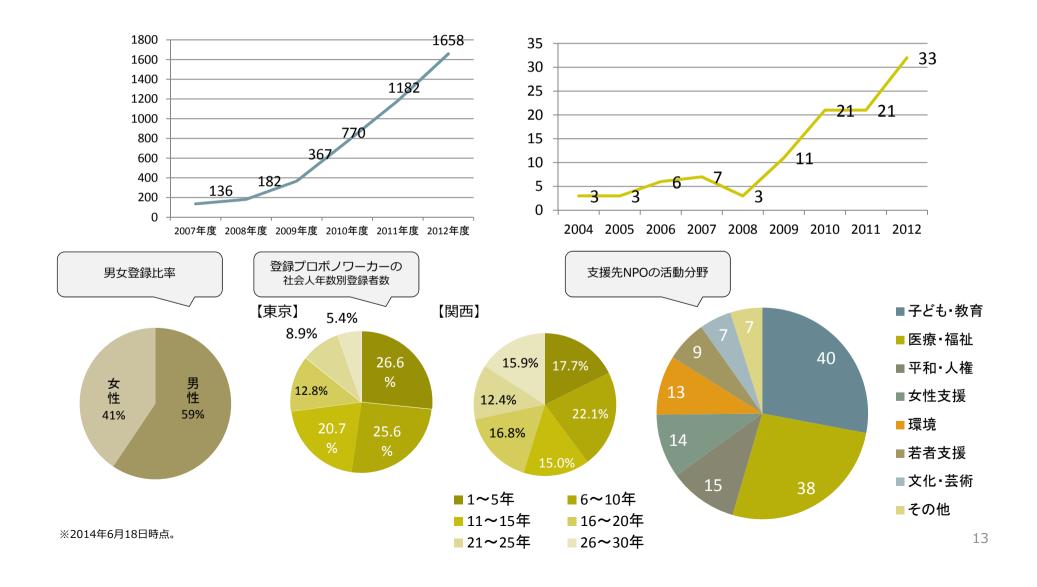
より多くの、幅広い職種の企業人に

プロボノ機会が広がっている

数字で見るサービスグラント

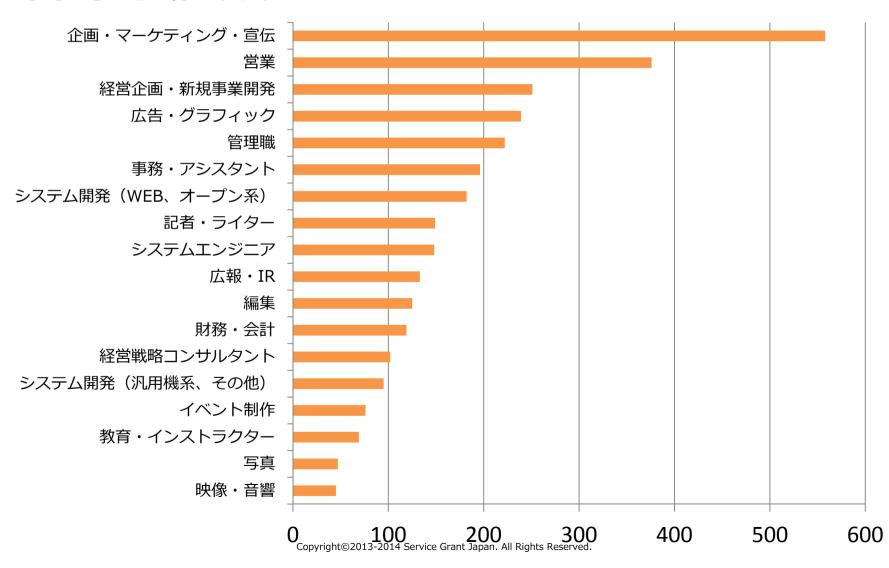
登録プロボノワーカー数: 2,152名 ※

プロジェクト実施件数: 168件 **



多岐にわたるスキル登録者の専門分野

サービスグラントに登録するスキル登録者の内訳をみると、1位の「企画・マーケティング」以外にも、「営業」「経営企画」「財務・会計」等、幅広い分野の方が多数登録していることが分かります。



「プロボノ・サービスプロバイダー」が国内でも増加中

NPO・任意団体

- ・二枚目の名刺
- ・ソーシャルベンチャーパートナーズ東京
- · a-con
- ・プロボネット
- ・PVプロボノ

etc.

企業

- IBM "Services Grants"
- ・ベイン&カンパニー
- ・デロイトトーマツコンサルティング etc.

地域

- ・ひろしまNPOセンター(広島)
- ・プロボノアジア(福岡)
- ・さが市民活動サポートセンター(佐賀)
- ・横須賀市立市民活動サポートセンター
- ・とっとり県民活動活性化センター(鳥取) etc.

個人

- ・弁護士
- ・税理士
- ・カメラマン
- ・ファシリテーター

etc.

3

「身近な地域」「遠隔地」「1日完結」…

多彩なプロボノモデルが試されている

ホームタウンプロボノ

NPO支援の実績・ノウハウを応用し、地域コミュニティ組織(町内会・自治会、地域活動協議会等)の課題解決をサポートするプログラム。

2011年度より、大阪市内の20地域以上にプロボノチームが参加し、地域コミュニティづくりに成果を生み出しています。

地縁団体 田内会自治会 地域活動協議会 中間的な サポート 東門的な サポート

「大阪ホームタウンプロボノ」の主な支援内容

地域活動の情報発信支援 (ホームページ、印刷物)



地域イベント (盆踊り・お祭り等) の 活性化策検討・運営改善支援



コミュニティビジネスの立ち上げ支援 事業計画の立案・ブラッシュアップ



地域施設(集会所・老人憩いの家等)の 利用促進策・改修改築策等の検討



ふるさとプロボノ

ふるさとプロボノとは、大都市圏のプロボノワーカーが、地域社会の課題解決や地域経済の自立を応援する地域交流型プロボノプログラムです。

地域社会で取り組まれているユニークな行政 施策や、地域課題の解決に取り組む団体や個 人の活動の基盤づくりをサポートし、地域の 力を高めることを目指しています。

「ふるさとプロボノ」の活用可能性

地域からの情報発信(特産品の販売促進・交流人口の拡大等)

被災地で活動するNPO・地域団体の支援

伝統工芸の商品開発支援・販路開拓支援

÷

「ふるさとプロボノ」の主な事例





兵庫県豊岡市

「コウノトリ」をシンボルに、環境と経済の両立を目指す政策を展開しています。有機米などの地域産品購入を入り口として、豊岡ブランドを確立し、ファンを増やすためのウェブサイト再設計を行いました。行政の公式サイトをプロボノで支援した国内初の事例です。

▼詳しくは…

http://www.city.toyooka.lg.jp/ 上記「コウノトリと育む」 をご覧ください



北海道下川町

東京都23区と同じ面積の9割を森林で囲まれた下川町では、循環型森林経営の実践の他、環境モデル都市の認定取得など積極的な施策を進めています。森林を中心に、その一生を支える町の取組と産業、そして町民の顔が見えるウェブサイトの新規構築を行いました。

▼詳しくは…

http://hokkaidotree.main.jp/shimokawa/ 「下川の森」で検索してく ださい。

プロボノマラソン

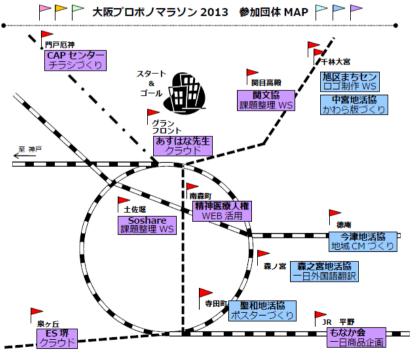
「プロボノマラソン」とは、プロボノ未体験の企業人・NPOにプロボノの魅力を感じていただく、1DAYプロボノ体験企画です。

日本初の「大阪プロボノマラソン2013」では、 44人のプロボノワーカーが12団体をサポート。 限られた時間で成果を生み出し、プロボノワー カー・NPOにとって実り多い機会となりました。













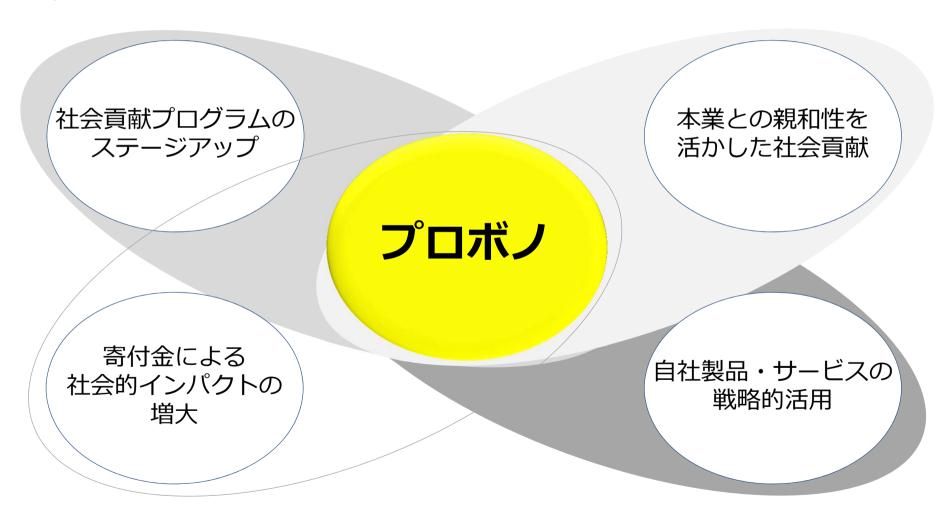
4

企業における戦略的CSRとして

プロボノが位置づけられている

企業×プロボノ=戦略的CSR

CSR・社会貢献活動を通じた企業としての発信力、社員参加の促進、社会的インパクトの向上等を図る一環として「プロボノ」を積極的・効果的に位置づけた取り組みが実現しています。



戦略的CSRとしてのプロボノ①

パナソニック様の事例「Panasonic NPOサポート プロボノプログラム」

2001年にNPOの基盤強化を支援するための助成プログラム「Panasonic NPOサポート ファンド」を創設し、設立以来10年以上にわたって、約220件のNPOに助成を行ってきました。

2011年より、ファンドの支援先を中心に 東京・関西・被災地等において、パナソ ニック社員チームによる「Panasonic NPOサポート プロボノ プログラム」を 実施。事業計画立案等を通じて、支援先 の事業展開力の強化を支援しています。



大阪の事業所内における説明会



プロボノチームによる提案



【概要】

支援対象	子ども・環境・国際協力分野のNPO/NGO (過去にPanasonic NPOサポートファンド の支援を受けた団体が中心)
実施地域	東京・関西・被災地
年間支援件数	4~5団体
支援内容	事業計画立案・営業資料・マーケティング基 礎調査・ウェブサイトの再構築等

【プロボノの位置づけ】

社会貢献のステージアップ	0
本業との親和性を活かした社会貢献	0
寄付金による社会的インパクト増大	0
自社製品・サービスの戦略的活用	_

戦略的CSRとしてのプロボノ②

N E C様の事例「NEC社会起業塾ビジネスサポーター」

2002年から約10年間にわたり、社会課題をビジネスの手法によって解決する社会起業家の育成支援の活動「NEC社会起業塾」を推進、約40人の社会起業家を輩出する実績を挙げています。







チーム内ミーティングの様子

これら社会起業家等を支援対象として、2010年から、社員のプロボノチームを組成し、ITコンサルティングを提供するプロボノプログラム「NEC社会起業塾ビジネスサポーター」を開始、毎年3団体を支援しています。



システム開発指示書 (成果物)の例

【概要】

支援対象	社会起業家 (社会起業家創出プログラム「NEC社会起業 塾」を卒業し、起業した団体が中心)
実施地域	東京・被災地
年間支援件数	3団体
支援内容	ITコンサルティング

【プロボノの位置づけ】

社会貢献のステージアップ	0
本業との親和性を活かした社会貢献	0
寄付金による社会的インパクト増大	_
自社製品・サービスの戦略的活用	_

戦略的CSRとしてのプロボノ③ 日本マイクロソフト様の事例

2012年から、日本マイクロソフト社の企業市民活動の一環として、NPOの「業務フロー」の改善・設計に取り組むプログラムをサービスグラントと協働で開発。NPOの業務課題の整理、解決策の提案を通じて、生産性の高いNPO運営をサポートしています。

プロボノでは、業務フローに関する提案 とともに、同社のソフトウェア製品を効 果的に活用し、NPOがすぐに利用できる 具体的ツールも提供しています。



チームリーダー同士の意見交換会



最終報告会の様子



Office 365を活用したスタッフ管理

【概要】

支援対象	NPO法人・社会福祉法人等
実施地域	東京・関西・被災地
年間支援件数	3~5件
支援内容	業務フロー設計 ITツール活用のためのコンサルティング

【プロボノの位置づけ】

社会貢献のステージアップ	_
本業との親和性を活かした社会貢献	0
寄付金による社会的インパクト増大	_
自社製品・サービスの戦略的活用	0

戦略的CSRとしてのプロボノ④

ゴールドマン・サックス様の事例

ひとり親や児童養護施設で生活する子ども達の支援を目的とする寄付金プログラム「GS Gives コミュニティ支援プログラム」を実施。その一環としてのプロボノプロジェクトでは、同分野で活動するNPOを対象に、社員チームによるコンサルティングを通じて事業課題の整理と課題解決策を提案しています。

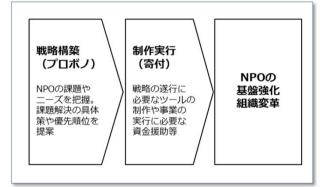
プロボノによる提案に基づいて寄付金を 支出することで、NPOの基盤強化と寄付 金の効果的活用を実現しています。



NPOと社員チームの皆さんで



ミーティング風景



プロボノプロジェクト の基本枠組み

【概要】

支援対象	NPO法人・社会福祉法人等
実施地域	東京
年間支援件数	2~3件
支援内容	事業運営の課題抽出と解決策の提案 寄付金を活用した課題解決策の実行

【プロボノの位置づけ】

社会貢献のステージアップ	_
本業との親和性を活かした社会貢献	0
寄付金による社会的インパクト増大	0
自社製品・サービスの戦略的活用	_

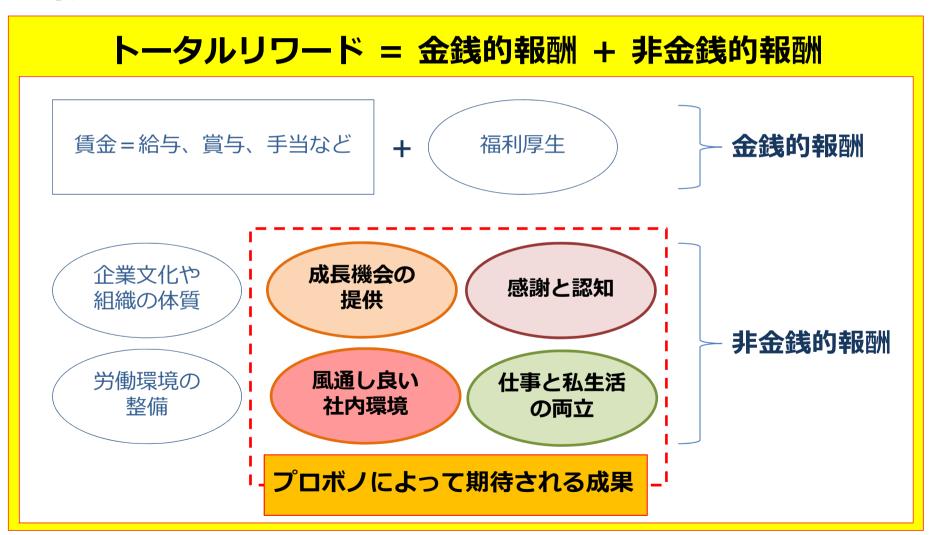
5

CSRだけではないプロボノの価値に

企業が気付き始めている

トータルリワードとしてのプロボノ

プロボノへの参加経験を通じて、「この会社で働いてよかった」、「この人たちと仕事ができて嬉しい」、「社会や世界に貢献できている」と社員が心から思えることに寄 与。



プロボノによって期待される価値① **成長機会の提供**

各コメントは企業プロボノに参加した企業社員プロボノワーカーの皆さまに実施したアンケート回答の一部です。

会社員とは異なる人達と打ち 合わせし、その考えや思いに 触れることにより、世界観 (視野)が広がった。

普段ほとんど経験することのない小規模なプロジェクトで、マーケティングから納品まで一気通貫に携わることで、**ものづくりの楽しさを再認識**できた。

あらゆる面で自分を高め ていく第一歩となった**貴 重な財産**となりました。

ベンチャー魂を持った人々と の交流で、**仕事に対する情熱 について考える機会が得られ た**。

> 日頃接する社内やお客様とは まったく異なる規模・業種・ 社会的位置づけなどのバック グラウンドを持つ方々と接す ることで、**自分の視野を広げ るという意味で良い刺激**にな りました。

積極的に自分の意見を言ったり、自分の考えで動いたり、 仕事の中ではなかなか踏み出せない一歩がプロボノ活動の中で踏み出せたことが自分にとっては自信になった。

プロボノによって期待される価値② 感謝と認知

NPOの方々とお会いして、社会人経験があるというだけでも、NPOの業務改善のためのスキルに値するものだということを認識しました。

自分のスキルや経験が、**社会 貢献活動に役立つ**んだという ことを経験できる。

お金で買えない経験(最終提案でクライアントに感謝の言葉を頂いた時、**人のために何かできたと実感できた**)

各コメントは企業プロボノに参加した企業社員プロボノワーカーおよびNPOの皆さまに実施したアンケート回答の一部です。

NPO等からのコメント

一方面からしか見ることのなかった事柄を、改めて**企業目線や市場の理論**で眺めることができた。

全く立場の違う人達と意見交換すると盲点を突かれる質問があったり、普段のボランティアさんに対する気遣いとは異なりいろいろな意見を出し合えたのはありがたかった。

団体の説明がしやす くなり、**会員数が1.5 倍**になりました。

企業との**協働案件獲 得**につながりました!

プロボノによって期待される価値③ 風通しよい社内環境

各コメントは企業プロボノに参加した企業社員プロボノワーカーの皆さまに実施したアンケート回答の一部です。

部門を跨いだ**連携、社内の繋がり**ができ、また机上の勉強と現実の差異を肌身に感じることができた。

組織を超えて良い仲間と知り 合えたこと、仕事では得られ ない知見が広がったこと、や り終えたことの達成感は、自 分の取っての財産になると思 います。 役職や勤務部署と関係のない、フラットな関係の中で**どのように動けばいいのか、一から考える貴重な経験**になった。

様々な部門のメンバーで協力 して行うので、分析方法やま とめ方などのノウハウを得る ことができました。

社内の幅広い人と話す機会に恵まれたのがよかったです。会社のビジネスは自分の部署だけでは成り立たないですが、他の人と話すことによりもう少し大きな枠組みを見ることができました。

プロボノによって期待される価値④ 仕事と私生活の両立

各コメントは企業プロボノに参加した企業社員プロボノワーカーの皆さまに実施したアンケート回答の一部です。

今回のプログラムは「別世界へのナビゲーター」。今まで全くNPOと接点の無い生活を送っていたが、プロボノという入りやすい入口を通じて新しい世界を覗くことができた。

自分と社会はつながってい

る、こんな風に(仕事以外で)社会と関わることができるということを実感できた半年間でした。

自分の仕事だけでなく、ボランティアを通して地域や周りの人と関わっていくのがこれからの社会人にあるべき姿だと思う。社内からの参加者なのでチームを組みやすく仕事にも集中しやすい。ボランティア未経験の人に丁度よいと思う。

以前よりも**優先順位・効率性** を考慮できるようになり、仕事以外の活動は、逆に仕事の質向上につながった。

プロボノへの参加による効果・影響 【考え方や生活の変化】

サービスグラントに参加した一般のプロボノワーカーに対するアンケート調査でも、参加者の多くが、自己の成長や、視野の広がり、社会に役立つ実感などを感じています。

1位

自身の視野が広がり、人間的な成長につながった【86%】

2位

社会問題やNPOに対する見方や 考え方が変わった【61%】

3位

社会に対して役に立っているという実感ができた【38%】

3位

ボランティア活動に関する興味関心が高まった【38%】

プロボノへの参加による効果・影響 (仕事上の変化)

自己の成長のみならず、「仕事の活かせる有意義な経験」を得たと回答した人が1位となるなど、プロボノへの参加が、仕事に関する意識やスキルの向上に役立つことも、多くのプロボノワーカーが実感していることです。

1位

今の仕事に活かせる有意義な 経験を得ることができた【60%】

2位

自分の専門性やスキルを磨くことができた【31%】

2位

仕事の進め方、時間の使い方などが 変わった【31%】

人事プログラムにおけるプロボノの活用可能性

リーダーシップ・ 中堅社員 プロボノ X 課題解決力の向上 プロボノ 女性社員 女性管理職率向上 X 育休後の プロボノ 育児休暇 X 職場復帰支援 退職後の シニア社員 プロボノ X 生きがい支援

ママボノ

育休中や将来復職を希望する女性たちによるプロボノ

育休中、または、将来的に復職を考えている女性が、プロボノを通じて、復職に向けた「ウォーミングアップ」のためのプログラムです。

試験的な実施となる第一期ママボノは、2014年2~3月の約2ヵ月間のプロジェクトとして実施。

支援先にも、参加した子育て女性たち にとっても、高い満足の得られる活動 となりました。 仕事の感覚を 取り戻したい 新しいコトに 挑戦したい

ネットワークを 広げたい

将来の復職・仕事再開に向けた "ウォーミングアップ"のためのプロボノプログラム

ビジネス コミュニケーション

課題解決力

視野の広がり 社会への関心

【参考】ママボノ第一期プロジェクト参加者の横顔

【産休・育休取得者】 広告会社 入社17年目 食品メーカー 入社15年目 教育関係会社 入社10年目 総合商社 入社8年目 製薬会社 人事部 入社4年目 など

【退職者】

元・制作会社勤務 デザイナー 退職後9ヵ月 元・部品メーカー 広報部 退職後3年以上 元・外資系金融会社 退職後2年 など

【フリーランス・個人事業者】 編集者 社会人10年目 など





プロボノが日本社会に根差すために

求められる3つの社会基盤

求められる3つの社会基盤

人材育成

プロボノプログラムの運営・ コーディネート等に必要な実務能力を 高める研修・人材育成の推進

情報提供

今後も増え続ける プロボノサービス提供者の情報を集約し 一元的な情報提供基盤を構築

実績認証

個人や企業のプロボノ活動の実績を認証し 人事考課、資格取得、 税制上の優遇措置などに活用